

Woodist Report

## ウッドィストのたより



球磨工業高校管理棟改築工事(3/17現場見学会にて撮影)

## 木の学校

子供たちにとって学校というのは特別な場所です。

皆さんも学生生活の思い出は学び舎とともにあるのではないのでしょうか。

木造校舎、教室、木の机や椅子など、木の香りや木肌の感触は、私たちの記憶にいつまでも残っています。

山佐木材も、子供たちから末永く愛される学校づくりに積極的に関わっていきたくと考えています。

## 球磨工業高校管理棟改築工事

設計：ワークステーション・モードフロンティア・萩嶺設計共同体様

施工：味岡・速永建設工事共同企業体様

所在地：熊本県人吉市

構造：木造（一部鉄筋コンクリート造）地上2階建て

建築面積：1,094.36㎡

延床面積：1,736.07㎡

工事：2012年7月～2013年7月（予定）



完成イメージ(外観パース)

近くを球磨川が流れ、数多い温泉に恵まれた自然豊かな環境にある熊本県立球磨工業高校は、昭和38年の開校以来、日本のものづくり技術を継承する工業技術者の育成に取り組んでいらっしゃる学校です。伝統建築専攻科（高校卒業後2年間で社寺建築の新築や修復を学ぶことができる）が併設された全国唯一の工業高校であり、卒業生は各地でご活躍です。新管理棟は職員室や図書室を有する木造2階建。同校の伝統建築コース実習棟に続き、「くまもとアートポリス」参加プロジェクトとして建設が進められています。

# 山佐木材株式会社

## 球磨工業高校の現場見学会が行われました

3月17日、くまもとアートポリスの主催で行われた球磨工業高校の現場見学会に100名近くの参加者が集まりました。最初に管理棟の設計・構造を担当された先生方から、建物のコンセプト、構造の特異性、壁柱の強度等について説明が行われました。

その後、現在足場を組んで壁柱の建て込みが行われている現場の見学が行われました。実際の壁柱を間近に見ながら設計者の方から直接お話を聞けるということで、現場は中も外も大賑わいでした。

また、見学者が隣接した校舎の屋上に上がったタイミングで、当社・山田リーダーの指揮のもと巨大な壁柱がクレーンで釣り上げられるという計らいもあり、多くの見学者から歓声があがりました。



伝統建築コース実習棟で行われたガイダンスの様子

## 特徴的な壁柱

山佐木材は、今回の工事で「壁柱」の製造・加工および建方を担当しています。材は熊本産の流通材を使用したいということで、集成材ではなく、杉角材を「積層」させて形成しています。あまり前例のない構造であるため、強度については細心の注意を払い、接合はメイプル材の木ダボと接着剤を併用し、木ダボは強度の高いものを選別し、実験による確認を行っています。

工場では角材5本・600mmのユニットを製造し、現場で接合を行っています。ひとつの壁柱の重さは3トン以上ありますので、安全第一で作業を進めています。



図書室の完成イメージ(内観パース)

## 新管理棟の設計主旨

共同設計者代表ワークステーションの高橋寛様より寄稿いただきました。

人吉市の県立球磨工業高校管理棟の改築では、地域の豊かな森林資源を活用した建物であることが大きな条件のひとつでした。また、象設計集団が基本設計を行った、個性あるキャンパスに対して、新管理棟は違和感なく調和するだけでなく、異なった存在感を持たせたいと考えました。

杉流通材120×180mm(一部210)を積層させた逆三角形の壁柱を主構成材とし、変形した六角形を組合せた、蜂の巣のような平面形式に沿って建ち上げます。角度をもって頂点に集まる壁柱は空間を緩やかに分節するとともに、三角形の開口部を通してさまざまな方向への連続性を生み出し、迷路状に広がる洞窟のような内部空間を実現します。杉積層材の量感、開口頂部から射し込む天空光、通り抜ける風などが瑞々しい清涼感あふれる個性的な場所をつくりだします。

職員の利用だけでなく学生のための図書室、資料閲覧室なども備えており、竣工後の日々の利用はもちろん、卒業後も母校の良い思い出としてみんなの心に残る建物になることを願っています。



全体構成パース

上から見ると壁柱が蜂の巣のように六角形に組み合わされているのがわかる

ワークステーション・モードフロンティア・萩嶺設計共同体

ワークステーション 高橋 寛

# 木の学校 施工事例

## 神山小学校校舎

所在地：鹿児島県肝属郡南大隅町  
設計：(有)下舞建築設計事務所様  
施工：1工区／東亜・大村JV様  
2工区／東急・成武JV様



## 小野小学校校舎

所在地：山口県防府市  
設計：(株)浪速設計様  
施工：(株)銭高組・澤田建設(株)・(株)原田建設JV様



## ヤマザキ動物看護短期大学

所在地：東京都八王子市  
設計：(株)野生司環境設計様  
施工：大成建設(株)様



## 種子島のせいざん病院様が落成式を迎えられました

3月23日、種子島で唯一の精神科病院であるせいざん病院様の内覧会・落成式が国政・行政の方も多数ご出席され、盛大に執り行われました。

この病院は平成23年度かごしま材利用推進事業を活用され、木造2階建の本館棟は、木材製品1,000㎡を使用し、木材のCO<sub>2</sub>固定量567tという環境に配慮された建物となっています。

木は病で苦しんでおられる患者さんに精神的な安定を与え、自己や対人関係を活性化する効果があるといわれています。今回の木造施設がひとつのモデルとなり多くの木材が使われることを願っております。(榎原)



## 京都大学にて小松幸平先生の最終講義が行われました

3月10日 京都大学宇治キャンパス・黄檗ホールにおいて、小松幸平先生の最終講義が行われました。36年に及ぶ研究活動の総括としてまとめられた「強靱な集成材構造物を造るため如何にして接合するか？—私の接合研究—」の講義資料をもとに全国から200人に及ぶ関係者が集まり、京都大学教授として最後となるこの講義を傾聴しました。小樽博展示館の構造設計から現在取り組み中のLSB接合まで、失敗談をまじえて情熱的に講義をしていただきました。

退職後も研究活動は続けられるとのことで、木構造関係者にとっては大変嬉しくありがたいことではありますが、ひとまず今まで賜りましたご指導に心から感謝申し上げます。(村田)



## 山佐木材10名が兵庫県へ視察に行ってきました

3月9日、山佐木材10名（社長、榎原専務、村田部長、延時、森田（悠）、戸口田、北村、坂口（進）、内田、きもつき木材高次加工センター・笹原所長）にて、兵庫県の（株）八木木材様と（協）兵庫木材センター様を視察させていただきました。

全国でも1番の木材伐採のプロの現場を視察できたことで、自社ですぐに取り組みなければならないことと時間をかけて検討しなければならないことを明確にすることができました。伐採現場、他各工程で行っていることは非常にシンプルでしたが、少数精鋭の人員でいかに計画通り推進するか、経験と実績から確実に実行されていました。多くのキーワードを現場へ生かしていきたいと思えます。

この度は八木社長をはじめ、関係の皆様大変お世話になりました。誠にありがたく厚く御礼申し上げます。(延時)

